

2015年(平成27年) 6月1日号

NO. 2682 (毎週月曜日発行)

株式会社 週刊住宅新聞社

本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-9-4 中公ビル
TEL.03(5363)5810 FAX.03(5363)5815 郵便振替口座 00120-5-83424
発行人 長尾 浩章 昭和35年5月10日 第三種郵便物認可

http://www.shukan-jutaku.com/

週刊住宅

GFネット流 大家実践塾

150

女性のための不動産投資 ④

私が不動産投資を始めるきっかけは、夫が古本屋で買ったロバート・キヨサキのベストセラー著書「金持ち父さん、貧乏父さん」金持ち父さんのキャットシユフロックワドランド」であった。2人目の子どもを妊娠しているときのことだ。資産と負債の違いや、E(従業員)とS(自営業者)、B(ビジネス・オーナー)とI(投資家)のそれぞれ立場でのお金と仕事の考え方の違いをシユフに説明しており、非常に

介してくれるわけではなかった。キャットシユフローを生み出してくれる物件は市場にはわずかしかなかった。毎日、コンサルタントが指標に合う物件を必死になって探しているのだということを知り、当時の私は知らなかつた。すぐに不動産投資を始めたいと思ったが何をしても良いかわからない、という状況が続いた。新聞に掲載されている新築ワンルーム投資の広告が目につくようになった。月

出回らない投資適格物件

迅速な判断へ事前知識を

分り易い。ただ、この本はアメリカの不動産市況が上昇していることが背景となっており、日本でも同じことが実践できるのかと疑問に感じた。

私の場合、正確な知識と良い物件を追い求めてCFネットに入社してしまつたというのが実際のところだ。これからも書籍やセミナーを通じて多くの方に不動産投資に関する情報を発信し、成功を目指す人を応援していきたい。

この時、日本で不動産投資について書かれた書籍は倉橋のものだけだった。書籍を読み、セミナーに参加した。しかし、徐々に不動産投資に関する知識はついてきたが、実際に物件を紹介

分り易い。ただ、この本は数千万円の持ち出しで不動産オーナーになれる、と書いてある。そもそも、それでは書籍に書いてあったような月々のキャッシュフローは得られない。新築ワンルーム投資は、もともと多くの収入があり、それを資産に変えようとする人たち向けの投資商品だということ

は私でも分かつた。物件を探そうと思つた。当時住んでいた鶴見界隈の不動産屋さんを1件ずつ訪問したことがある。鶴見駅西口周辺だけでも10件もの不動産屋さんがあった。しか

し、10件訪問しても好意的な業者さんはほとんどいなかった。女性1人で不動産屋さんを訪問するのは、正直、少し怖くもあつた。「いいものがあると業者が買つてしまつてですよ」「あまりないけど、まあ、もしあつたらね」「うちにこそいいものがないわね」「競売やってみたらどうですか」

てきたが、実際に物件を紹介

し、10件訪問しても好意的な業者さんはほとんどいなかった。女性1人で不動産屋さんを訪問するのは、正直、少し怖くもあつた。「いいものがあると業者が買つてしまつてですよ」「あまりないけど、まあ、もしあつたらね」「うちにこそいいものがないわね」「競売やってみたらどうですか」

潤沢な資金が確保できない状況下で不動産投資を始めるには、やはり、なんとかしてでも少しでも安定してキャットシユフローを生み出してくれる物件に出会つことが大切だ。そして出会つた時に、すぐに購入の判断

シー・エフ・ネット総務部 宅地建物取引士・新井 誠子